

## 6/13 夏の到来をつげる風物詩 ～なにもささパレード～



**中**里小学校でなにもささパレードが行われ、湯らば一くを出発し津軽鉄道津軽中里駅前に到着するコースを全校児童がねり歩きました。

沿道には、郷土の伝統である「なにもささ踊り」を一生懸命踊る児童をひと目見ようと多くの町民が集まり、声援を送りました。

津軽中里駅前に着くと、6年生が輪になって最後の踊りを披露、踊り終わると沿道からは大きな拍手が送られました。

## 6/19 令和8年度のふれあい楽習室が開講

ふれあい楽習室の令和8年度開講式がすくすくしたまゐえ館で行われ、終了後は第1回目の教室で簡単に作れる中華料理のレシピに挑戦しました。

受講者は各テーブルに分かれて、レシピを頼りに調理を開始し、「中華風おこわ」「中華スープ」「ポテト春巻き」「小籠包」「黒糖饅頭」の5品を完成させました。

ふれあい楽習室は来年の3月まで開講されます。



## 6/19 海で被害を出さないために漁業者たちが協力



**海**で事故が発生したときの救助活動や対処などの連携強化を目的に、小泊漁港内の魚市場事務所前の海域で海難救助訓練を実施しました。

小泊漁協、漁業者、小泊漁協婦人部、地域住民らで構成される小泊地域多面的機能発揮活動組織が主催し、漂流者の救出訓練や船の火災消火訓練、水難救助訓練、漁協婦人部による応急手当訓練などを実施し、事故発生時の迅速な対応について確認しました。

## 6/19 町の2漁協で漁協合併が成立

**小**泊漁業協同組合と下前漁業協同組合が、6月1日に正式合併したことを受け、小泊漁協前で組合発足記念セレモニーが行われ、漁協関係者や町が出席するなか、町長らがテープカットを行いました。

成田直人組合長は「両漁協が培ってきた技術と人材を結集して、漁業経営基盤のさらなる強化や充実を目指し、地域社会の発展に貢献していくための『新・小泊丸』の船出。感謝の気持ちを忘れず取り組んでいく」と決意を述べました。

合併後の名称は「小泊漁業協同組合」となります。





## 7/1 中泊町から社会を明るく照らす



毎年7月1日の「更生保護の日」に合わせ、7月末まで行われる「社会を明るくする運動」が中泊町でも実施され、町の保護司会と更生保護女性会が参加し、役場庁舎前でメッセージ伝達式を行いました。

伝達式では、内閣総理大臣からのメッセージが濱館町長に、県知事からのメッセージが鈴木教育長に手渡され、犯罪や非行防止に対して、町の協力を要請しました。

## 7/1 脱炭素の推進に尽力 ～地域おこし協力隊～

地域の問題解決や活性化のために都市部から移住して活動する「地域おこし協力隊」に、唐田 好紀隊員が加わりました。

地域おこし協力隊の唐田好紀さんは、町の地域新電力会社である中泊リージョナルパワー株式会社に席を置き、地域新電力の普及・利用促進に向けた広報活動など、脱炭素の推進に向けたエネルギー事業に携わります。

唐田さんの任期は令和11年6月30日までです。



## 7/5 津軽海峡交流フェスタが今年も開催！



遠泳の聖地とされる津軽海峡の魅力を発信しようと昨年からスタートした「津軽海峡交流フェスタ」が今年も小泊マリンパークで開催されました。

オープニングは、小泊網おこしはやし保存会が網おこしから始まり、外ヶ浜町、今別町、福島町の三町それぞれのPRなども行われました。

特に北海道福島町は、昨年参加がかなわなかった「松前神楽」の披露も実現し、来場者は普段お目にかかれない伝統芸能を鑑賞しました。

## 7/14 町の功労者2名がそれぞれ叙勲・表彰されました

高齢者叙勲を受けた井沼 良さんが、町長から旭日単光章を授与されました。

井沼さんは中里町時代の昭和55年から平成12年までの20年間、町議会議員としてご尽力されました。

また、全国市町村教育委員会連合会と青森県市町村教育委員会連絡協議会から退会功労者表彰を受けた佐井川智道さんが、教育長から表彰状を授与されました。

佐井川さんは平成25年から令和7年までの12年間、町教育委員会の教育委員としてご尽力されました。

